



ほけんだより 7月号

令和3年7月1日
粉河保育園
看護師 山田 昇子

暑い季節がやってきました。先月より夏風邪による発熱、下痢の子どもが多くみられます。今年も晴れた日はできるだけ多く、水遊びを行う予定ですので、登園前の体調チェックは欠かさず行ってください。また、とびひも流行る時期になっていますので、注意してみてください。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。



患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。ガーゼなどで覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は医療機関に相談し、内服の抗生物質を処方してもらいます。子どもの間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。虫刺されやすすり傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法となります。

水遊び前チェック！



毎回、水遊びの前はその日の健康状態を必ずチェックしましょう。

- ・体温
- ・顔色
- ・機嫌
- ・睡眠時間
- ・下痢をしていないか
- ・発疹はないか
- ・目やには多くないか
- ・食欲はあるか

夏に多く流行する主な病気

エンテロウイルス → ヘルパンギーナ・手足口病

アデノウイルス → 咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎

また、アデノウイルスには約50種類のタイプがあり、咽頭結膜熱になるものもあれば、眼が赤くなって目やにが出るだけのもの、さらには胃腸症状として現れるものもあります。くしゃみなどの飛沫や接触などによって人から人に伝染します。特効薬はなく、治療は症状に応じた対症療法が中心です。外から戻ったら手洗い・うがいを行い、日ごろから感染症予防を行っていきましょう。